

Hallo! にちらん

“Hallo!” はオランダ語のよびかけのことばです

● ● ● 2025(令和7年)7.24

主催事業のご案内・ご報告

オランダ事情講演会参加者募集

「日本とオランダ 水のつながり」

一日蘭水の災害から文化・歴史・外交まで

当地は下総台地と印旛沼低地からなり複数の河川が流れており、水との長い闘いの歴史があります。

また、当地と交流のあるオランダ王国は「水の国」として、治水により国を守ってきた歴史で知られています。近年、地球温暖化の問題や国内外で発生する水害等のニュースに触れる機会も多くなり、「水」についての関心が益々大きくなってまいりました。

今講演会では、水と防災に関する世界的な専門家としてご活躍中の廣木謙三氏(国立大学法人政策研究大学院大学 名誉教授)を講師としてお迎えし、水の問題について解説して頂きます。大切な水、脅威にもなる水、私たちの生活と水のこれからについて学び考える機会となりましょう、ご家族ご友人お誘いあわせの上、どうぞご参加下さい。

講師：廣木 謙三 氏(国立大学法人政策研究大学院大学 名誉教授、国際協力学博士)

日時：9月14日(日)14時～16時(受付13時半～)

会場：佐倉市立美術館！
…GC' 4Fホール

※駐車場には限りがありますので、公共交通機関をお使いください。

後援：佐倉市、佐倉市教育委員会、佐倉国際交流基金

定員：90名(要申込・応募多数の場合は抽選)

対象：会員・一般

参加費：200円(資料費等)

申込期間：8/1(金)から8/31(日)まで

申込：QRコードからお申込みまたは、往復はがきでの申込み

宛先〒285-8501 佐倉市海隣寺町97番地文化課

問合せ：佐倉市文化課(043-484-6191)



令和7年度総会報告

4月26日(土)午後、市社会福祉センター3階中会議室において令和7年度総会を開催し、会員、理事、顧問、参与計23名と市文化課より2名の皆さんの出席がありました。冒頭の会長挨拶に続いて、議案1号、2号、3号について審議され、3案ともすべて承認されました。総会後の茶話会では参加者全員から近況報告があり、活発な情報交換も見受けられました。最後に大沢参与からアポロ11号が採取した「月の石」標本の紹介とシーボルトと鉱石のお話しいただく等、和やかな中にも有意義な交流の時間となりました。令和7年度は今総会を経て正式にスタートしました、これからも楽しく

特色のある活動を企画します、会員皆様からのアイデアや情報をお待ちしています。

【会長 山岡みち代】



オランダ王国大使館公邸を訪問

4月3日(木)オランダ王国大使館公邸チューリップガーデンにて行われた「チューリップ鑑賞会」に佐倉市長西田三十五様、佐倉日蘭協会員16名が招かれ楽しいひとときを過ごして参りました。

当日は冷たい菜種梅雨を思わせる小雨の中でしたが、公邸内には温かい雰囲気醸し出され、オランダの伝統的な家具、壁に飾られたアート作品、暖炉の上に置かれた花々等が迎えてくれました。

初めにオランダ王国大使館全権公使ロブ・アンダーソン様の機知にとんだ素敵な挨拶に心とまされ、その後、ヒルス・ベスホー・プルッフ特命全権大使もご一緒され、参加者の和の拡がりがいよいよ一層増したようでした。オランダ発祥のお菓子「ストロープワッフル」に舌鼓を打ち、コーヒー片手に東京日蘭協会の皆様とのおしゃべりの中にも和やかな雰囲気が漂っていました。



小雨を気にしつつ庭に降りるや一列に並ぶチューリップ！」の声。庭全体には約15,800輪のチューリップが植えられているそうですが、当日は蕾を膨らませているものがまだ多く見られました。只、元々敷地には武家屋敷があった故、日本庭園を思わせる東屋等の周りには色とりどりの春の草花を鑑賞することが出来ました。特に東京タワーと高さを競うかのように芽吹き始めた欒の大木、ピンク色に咲き乱れるシャクナゲの花、新緑の木々の中にひっそりと構える真っ赤な太鼓橋などとても印象的でした。

2時間程度の鑑賞会でしたが、日本とオランダの深い絆を感じさせてくれた心に深く残る充実した時間を過ごすことが出来ました。

【副会長 十川幸博】

第13回風車まつりを開催しました

佐倉市・佐倉市観光協会(公社)主催第37回「佐倉チューリップフェスタ2025」(期間4月1日(火)～21日(月))の協力団体として当協会は、第13回風車まつりを4月5日(土)開催しました。桜満開の中、風車内では「オランダ児童デルフトブルー絵画作品」やパネル等を展示。風車入口では風車ぬり絵、クイズラリーの「オランダあれこれクイズ」を配布し、多くの来場者に関心を持っていただきました。三角広場では、木靴体験やミニテント内でオランダチーズ、ワッフルを販売し、オランダの味を求める人たちに、お立ち寄りいただき大変好評でした。今回2回目となるクイズラリーでは、手作りの「チューリップしおり」をプレゼントさせていただきました。参加者の方たちには大変喜んでいただきました。

今回初めて佐倉市ヤングプラザから子供たちやスタッフの方たちの協力をいただきました。子供達には、木靴体験とクイズラリー参加の勧誘を担ってもらい、元気な声に溢れてとても賑やか場となり盛況でした。



本来4月5日(土)、6日(日)と2日間予定されていた風車まつりでしたが、6日(日)は、雨の予報に

より中止が決定され、1日だけの開催となりました。

2日間開催できなかったのは残念でしたが、1日は桜とチューリップに囲まれた中で開催できたことはとてもよかったです。

また、ふるさと広場の改修工事が予定され、今後3年間チューリップフェスタの開催が見送られることとなり、今回多くの関係者、来訪者の応援をいただきました。ありがとうございました。

【事務局 荒井茂洋】

風車まつりに参加して

4月5日、今年もふるさと広場で風車まつりが開催されました。コロナ以来、ひさしぶり、昨年からは風車近くにテントを張り参加しました。今年は、チューリップの種類も多く、大勢の人たちが、訪れていました。テント内では、オランダのワッフルとチーズを販売しました。私は、チーズ売りに協力しましたが、珍しい4種類のチーズは、午前中に完売しました。また、テント内では、クイズや風車のぬりえの配布、木靴体験コーナーに佐倉市ヤングプラザの小学生の応援があり、元気な声で呼びかけていました。残念なことに今年限りで、しばらくふるさと広場は閉鎖になるので、チューリップフェスタ同様に私たちの風車まつりもしばらくお休みの予定です。

翌日は、雨天の予報で、1日だけの活動で終わりました。

【会員 田中育子】



チューリップ球根の掘り取りを行いました

チューリップ友の会区域に昨年度植え付けたチューリップの球根掘り取りを5月17日(土)小雨の中事務局有志3名で行いました。風車まつりにご協力いただいたヤングプラザの子供たちの参加を予定していましたが、土、日の天気が雨模様で、畑もぬかるんでおり、残念ながら掘り取り行事は中止といたしました。しかし今後しばらくは植え付け予定もないので有志3名が集まり小雨の合間を縫って掘り取りを行いました。

【事務局 千明 正義】



オランダ・蘭学ゆかりの地巡り 第 22 回東京散策会(報告)

好天に恵まれた6月6日(金)、最高齢の大沢参与をはじめ、会長、理事、会員、家族、事務局合わせて32名が散策会に参加しました。先ず午前中は、長崎、大坂時代にオランダ語、蘭医学を学んだ福澤諭吉が創設した慶應義塾大学を訪問。キャンパス内のシンボリック的存在である慶應義塾図書館旧館は国の重要文化財に指定され、東京大空襲で焼失したステンドグラスも1974年に復元されています。また、2011年の東日本大震災以降、耐震改修工事と保存修理工事が施されており、令和3年図書館旧館2階に開設された「慶應義塾史展示館」をゆっくり見学しました。

昼食を学食等で取り、もう一つ国の重要文化財に指定されている「三田演説館」の外観を見学。その後「札の辻」近くにある東京都史跡「元和キリシタン遺跡」に移動し、外山理事に解説して戴きました。下総国、臼井城主原家の嫡男がジョアン(ヨハネ)原主水としてキリスト教の洗礼を受け、その後殉教者となり処刑されたことを学び知りました。

午後は佐倉藩出身の津田仙が創立に貢献した普連土学園を見学いたしました。建築家、大江宏氏による校舎は東京都選定歴史的建造物となっており、その校舎内を見学させていただきだけでなく、青木校長先生自ら学園の歴史、キリスト教派等の説明をして下さいました。本来、生徒の下校後の訪問の予定でしたが、学校側の行事日程の変更により、生徒たちの授業中の場所もあり、迷惑のかからないよう見学させていただきました。また、津田仙の曾孫さん津田守氏ご夫妻も参加されました。

好天に恵まれたとはいえ、梅雨の合間で蒸し暑く、坂道もあり高齢者にとっては少々きつい散策会になりましたが、個人的にキャンパスを訪れる機会も少なく、おおむね好評のうちに実施できました。

【事務局 関とも子】

慶應義塾図書館旧館前で 2025.6.6



普連土学園前で 2025.6.6



オランダ・蘭学ゆかりの地巡りに参加して

当日は、事務局の皆様の素晴らしい企画・運営と、外山理事の的確な案内やご説明のお陰で、歴史を紐解き新たな知見を得る楽しい散策会になりました。

最初の見学先は、国指定重要文化財でシンボリック的存在である慶應義塾図書館旧館2階にある福澤諭吉記念「慶應義塾史展示館」でした。歴史的建築物を見るのが好きな私は、華麗なゴシック様式建築、ラテン語で「ペンは剣よりも強し」と記されたステンドグラスに魅了されながら、展示館に入りました。福澤諭吉の生涯と蘭学塾を礎とする慶應義塾史を辿り、近代日本の激動の歴史に浸る贅沢な時間でした。下級武士の家庭に生まれ1歳半で父を失った福澤諭吉の揺るぎない人生観と、『學問ノススメ』や数々の偉業が繋がった瞬間を感じました。

昼食は、学生食堂「山食」で名物のカレーをいただき、学生気分を満喫した後、元和キリシタン遺跡をはじめ三田の地に点在する文化財等を巡りました。

最後に訪れた「普連土学園」は、明治20年に新渡戸稲造、内村鑑三の助言のもとにアメリカのキリスト教フレンド派のジョセフ・コサンド夫妻を中心に設立された女学校で、「普連土」の校名は、佐倉市郷土の先覚者津田仙によって名付けられました。建築家大江宏が設計した赤い三角屋根の連なるファンタスティックな中学校校舎に心躍らせ、自由・平等・対話・平和を重んずる教育や静黙室等の教育環境に、公教育とは異なるキリスト教精神の学校教育に触れる貴重な体験ができました。協会の皆様のご尽力に心より感謝申し上げます。

【会員 田辺直美】

オランダブレイスヴェイクの 青年との交流記

私は都内の大学に通う大学生ですが、2025年3月、縁あってオランダに3週間ほど滞在しました。そのさい、山岡様を通じてご紹介いただいたブレイスヴェイクのトム君とビヨルン君にお会いすることができ、充実した日蘭交流の時間を持つことができました。以下ご報告申し上げます。

トム君とビヨルン君は、小学生の時、佐倉オランダ児童交流事業で佐倉市を訪問した仲間同士です(佐倉に来る前から仲良しだったそうです)。現在、オランダで高等専門学校に通っています。二人とも、日本で味わうことのできた数々の体験、佐倉のホストファミリーの方々との楽しい思い出をいまも忘れることなく、昨年(2024年)の夏には二人で一緒に日本を再び訪れ、ホストファミリーの方々とは再会し、また日本の各地を旅し、大人の視点で改めて日本の良さを感じたそうです。「日本は自然が豊かな国なんだなあ」ということでした。

お2人とは、オランダで2回ほどお会いしました。2回とも車に乗せていただきました。1回目はブレイスヴェイク付近を案内いただき、小高い丘に行ってみ晴らしを楽しむことができました。2回目はキューケンホフに行ったのですが、3月ということでチューリップは開花しておらず、のどかな様子を味わうこととなりました。英語でお話したのですが、オランダの若者たちが流暢に英語を操るのには驚きました。

なお、お2人とも、かつて佐倉で相撲をとったことが特に印象に残っているそうです。やはりその国独自の文化に触れることが、国際交流にとって重要ではないかということを感じました。私も自分の大学で国際交流活動に関わってきましたが、あえて日本を選んで留学してくる外国人学生の皆さんに、日本に来てよかったと思える場と時間を共有できるといいなと思ったところです。

山岡様をはじめ、佐倉日蘭協会の皆様には大変お世話になりました。厚く御礼申し上げます。

【会員家族、大学生】

オランダ関連情報

-講演会-

鹿山文庫講演会

日時:8月8日(金)14時~16時(受付13時半~)

場所:佐倉高校地域交流施設

演題:佐倉藩の知られざる海上砲術家・田辺重則
~幕府海軍と藩の狭間で~

講師:東京大学史料編纂所助教 水上 たかね 氏
オランダ、ライデン大学に客員研究員として2年間滞在、日本の幕末・維新史の研究者として活躍中。

◎申込み方法

*市外・県外の方、佐倉高卒業生以外の方も参加いただけます葉書のみでの受付。

定員:約60名(先着順) *葉書による受付を開始しています

①住所②氏名③電話番号 *①~③は必須

④参加者数(本人を含む)

〒285-0033 佐倉市鍋山町18

佐倉高校「鹿山文庫講演会」担当

-本の紹介-

「学んで教えて60年」-アニュアルエッセイ- 安達恵美子著(2024年6月 正文社刊)

著者は千葉大学医学部を中心に眼科学の分野において60年にわたる多大なご功績がある。オランダはじめ欧州諸国でのご研究やドイツ政府よりシーボルト賞を受賞されたご経験など、臨床医、研究者、教育者としての輝かしい日々の思い出が綴られたエッセイ集である。

【千葉大学名誉教授、当協会終身会員】



*オランダ関係のイベント情報、ニュース等ございましたら、メール・FAX等で下記問い合わせ先までお知らせください。

特別会員(敬称略)

岡村美智子

(株)小川園

(株)オランダ家

(株)木村屋

(株)クリケツ

佐倉厚生園病院

(社)佐倉市観光協会

佐倉商工会議所

佐倉社中合同会社

佐倉順天堂医院

(株)村山ツーリストビューロー

佐倉ロータリークラブ

田中育子

千明(CHIGIRA, M)

DIC川村記念美術館

塚田雅二

日本電気商会

宮北英志



佐倉日蘭協会

〒285-0037 佐倉市本町81 佐倉順天堂記念館

普通会員1口2,000円/特別会員1口5,000円

*新規会員募集中 詳細は下記問い合わせ先へ

事業参加申込・問い合わせ

佐倉市魅力推進部文化課

文化振興班 佐倉日蘭協会担当

〒285-8501 佐倉市海隣寺町97

TEL. 043-484-6191

FAX. 043-486-9401

e-mail: bunka@city.sakura.lg.jp

ホームページ「佐倉日蘭協会」で検索